

柑芦会 本部 ニュース

第 15 号 2020. 10. 1.



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. 大学・本部情報

「大学への寄付に対する感謝状をいただきました」

柑芦会会長 北村修一

本年5月の理事会で正式決定した和歌山大学創立70周年記念事業に対する3,000万円の寄付の手続きが先日完了しました。これを受けて、9月28日(月)に学長室での感謝状贈呈式に参列してきましたのでご報告します。その際には坂本副会長(和歌山支部長)にも参列いただきました。また当日は、経済学部の女子トイレの改修工事費を寄贈された和歌山大学後援会・経済学部支部の井手支部長も同時に感謝状を受けられました。

贈呈式後の学長室での歓談の中では色々な話題が出ましたが、坂本副会長と私からは、下記のような意見と要望を学長はじめ担当理事など大学側の皆さまへお伝えしました。

- ・全国の地方国立大学は同じ悩みや課題を抱えているが、和歌山大学はその中でモデルと言えるような「特長づくり」を率先してやっていただきたい。
- ・そのためには、和歌山にある様々な自然資源、歴史資源、産業資源(果樹、農林)、人材資源を生かす努力をしていただきたい。
- ・コロナの影響で授業もオンラインになるなどたいへんだとは思いますが、ここは是非「ピンチをチャンスに」という考え方で臨んでいただきたい。

伊東学長のほうからは、「おっしゃるとおりだと思う。」とした上で、

- ・和歌山県OBの藤本理事の協力も得て、県下30の市町村の28までは現地を訪問して連携の要請や大学に対するご要望も伺ってきた。コロナのせいでやむなく始めたオンライン授業だが、これを逆手に取れば紀南地区の方々への授業も可能になるのでその具体化も検討を進めている。
 - ・また我々の顧客は18歳の高校生だけではなく広く社会人をターゲットとして「リカレント教育」も充実していきたいが、「松下会館」はまさにそのためにも活用したいし、オンライン授業の拠点にもなる。
 - ・幸いにも本学には理系を含む4つの学部があるので、「文理を融合」した教育コンテンツの開発も推進したい。
- などのお話がお聞きできました。



左から伊東学長、井手支部長、北村、坂本柑芦会副会長

2. 本部情報

柑芦誌(第51号)発刊しました。(10月1日付)



◆本号の内容◆

速報：「新型コロナウイルス禍における大学の現状」、
 特集：「地方創生を目指して・和歌山大学及び同窓生の活動」
 その他「支部だより」
 「ゼミ・同期会・クラブ・同好の集り」
 「母校だより」
 「出会いのひろば（会員談話室）」等
 会員よりの寄稿記事が満載
 表紙は、「柑芦絵画を楽しむ会」のメンバー 大39 小柴学司
 氏の作品「ハッピー白浜」です。

(柑芦誌 編集委員会)

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207 号

Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925

E-Mail: honbu@kourokai.com URL : <http://www.kourokai.com/honbu/>
